

- (4) 指導実践をとおしてみた指導計画書の活用について (※ 14、15頁見開きで)  
 次の【資料4】は、「3年-22 学習の課題や悩みの解決」の指導実践（この指導実践は研究者が行った）を例に、指導計画書の考え方や活用の手順・方法を示したものである。

【資料4】3年「学習の課題や悩みの解決」の指導実践の概要

**1 「学習の課題や悩みの解決」の指導計画の考え方** (※5頁の推進試案に沿って指導計画の考え方を示す)

- ガイダンスの機能を生かす場面→進路の選択に関する題材
- 学習指導要領に示された学級活動の活動内容例とのかかわり  
→「青年期の不安や悩みとその解決」、「自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用」に関する題材
- 適応と選択にかかわる能力
- ガイダンスの機能を充実させるための工夫
  - ㊦ ねらいの明確化
  - ㊧ 適時、適切な場での指導（3年間の中での位置付け）

時	主な学習活動と生徒の反応等	主な指導と援助
導入 5分	1 「学習に関する不安や悩み」のアンケート集計を確認し、活動のテーマを知る。 学習上の不安や悩みを取り除き、学習活動の改善を図ろう	アンケート結果から気付いたことを教員に報告させる。学習に関する不安や悩みは、誰でもがもっていることを把握させ、その原因や解決の方策等を考えることをとおして、各自の学習活動の改善に結び付けられることを、活動テーマとして確認する。
展開 42分	2 「中学生生活と進路」p.50の「集中力を高めて成果をあげる」を読んだ、悩みの原因(問題点)はどこにあるかを考える。 ・「ながら勉強」 ・夜更し時間率の勉強 3 「中学生生活と進路」pp.52-53の「苦手意識を取りのぞこう」を読んだ、苦手意識を取り除く方法を班で考える。 ・不得意になった原因を突き止める ・理解できるところとできないところをはっきりさせる ・自分の将来の希望と結び付けて考える 4 各自の学習活動の実態と、学習上の不安や悩みを「相談用紙」に記入する(クライアント)。 ・相談用紙の、今までの「家庭での学習の取り組み状況」のアンケートに回答する ・学習活動に関する不安や悩みを書く 5 任意の級友の「相談用紙」にコメントを記入する(カウンセラー)。 ・クライアントの学習の実態、不安や悩みに対して、アドバイスや励ましを記入する 6 回答を熟読した上で、自分の思いや感想をまとめる。 ・カウンセラーの思いをよく考えてみる	<p>M君、F君と比べて、自分の学習習慣や学習環境と似ているところがあれば指摘させ、挙げられた点について学級全体の傾向を半半より確認させる。</p> <p>感情統制能力に関する工夫 →学習上の悩みの原因と自分との対比</p> <p>導入で示した、学級のみんなの「学習に関する不安や悩み」のアンケート結果とも照らし合わせて考えさせる。 苦手意識を取り除くための視点として、三つの点を指摘させる。</p> <p>問題解決能力に関する工夫 →グループでの話し合い</p> <p>各自の学習活動の実態と学習上の不安や悩みを素直に記入させる。 「相談用紙」を二つ折りにし、裏に自分だけが分かる印を付けさせる。 「相談用紙」を集め、任意の級友に渡すように再配布させる。</p> <p>人間関係能力に関する工夫 →「相談用紙」への正直な記入</p> <p>実際にアドバイスや励ましを考えさせる。 書き終わったら、二つ折りにして提出させる。 自分のマークの付いた「相談用紙」を持っていかせる。</p> <p>次の観点から、自分の思いや感想をまとめさせる。 ・学習活動の実態、不安や悩みを書いたときの気持ち ・カウンセラーとしてアドバイスや励ましを記入していた時の気持ち ・回答を読んだ時の気持ち</p> <p>教員に発表させる。 本時の活動を通して自分の学習活動を改善し、進路実現に向けて努力していくように促す。また、教育相談を随時実施することを告げて、まとめる。 「相談用紙」に氏名を記入させ、提出させる。</p> <p>感情統制能力に関する工夫 →ピア・カウンセリングによるアドバイスと励まし</p>
終末 3分	7 ピア・カウンセリングを取り入れて学習活動を振り返っての、自分の思いや感想を発表する。 ・不安や悩みは自分だけではなかった ・具体的なアドバイスがあって参考になる ・どちらも悩んでいるので先生に相談したい	
5	事後指導 ・学習計画を作成させ、それに基づいて学習させる。また、必要に応じて個別の教育相談を行う。	

**2 活用の手順・方法**

- 題材における目標（指導計画書1）の確認
- ガイダンスの機能にかかわる能力と展開部での位置付け（指導計画書2、4）の確認
- 指導の展開部の流れ（指導計画書4）の理解
- 指導上の工夫（指導計画書3）のアンケート「学習に関する不安や悩み」の実施と資料化（次頁2の1）
- ピア・カウンセリングの方法の確認。「相談用紙」（次頁3）、回収箱の用意
- 「中学生生活と進路」の資料（次頁2の2など）を用いたロールプレイについて、教師によるTTで行うか、生徒に行わせるかの検討と事前練習
- 教師の発問・指示・援助等（次頁1）、板書事項（次頁4）の用意

次頁の発問等のA~Gに対応↓

A  
B  
C  
D  
E  
F  
G

# 1 教師の発問・指示・援助等

**A** T: 学習に関する不安や悩みのアンケート結果をまとめてみました。  
 T: (TP提示。項目を指しながら) どれが多いと思いますか。  
 T: このグラフを見ての感想や気付いたことを述べてください。  
 T: (生徒の発表を受けて、共通する事項を板書する)  
 T: **誰でも悩みはあるんですね。それでは、これらの悩みの原因や解決の方法をみんなで考えていきましょう。**  
 T: (学習課題を板書)

**B** T: ①番の「やる気が出ない」、「飽きる」の問題について考えます。今から、私と佐藤先生とで演技をします。何が(どんなことが)問題なのかをよく考えながら、二人の会話を聞いてください。  
 T: (教師二人で、「中学生活と進路」3年p.50を基にロールプレイ)  
 T: 何が(どんなことが)問題だと思われましたか。  
 T: (「ながら勉強」と「夜遅い時間帯での勉強」に集約し、挙手によって実態確認させる。そのような勉強で能率はどうかも聞く。)  
 T: やっぱ、生活リズムを正していく必要があります。  
 T: 次に、②番の「勉強の仕方が悪い」とか「苦手教科」の問題をどうしたらよいか考えます。(「進路学習ワークシート」配付)  
 T: では、配付したプリントの2番のところ、演技します。先生役は私、A君役を〇〇君、Bさん役を△△さんをお願いします。  
 T: みなさんには、この後、班に分かれて、苦手意識を取り除く方法を話し合ってもらいます。演技の中にそれを考えるヒントがありますからそれを考えながら演技を見てください。

**C** T: (三人でロールプレイ)  
 T: **班体制になって、苦手意識を取り除く方法を話し合ってください。** 班長さんが司会として意見をまとめ、ワークシートの2番の下の記入欄に、3つ記入してください。  
 T: (各班を巡回し、状況把握や支援をする。)  
 T: 各班の話し合いの結果を発表してもらいます。  
 T: (各班から出された意見を、黒板に板書し、整理する。)  
 T: (板書を基に) これらが、苦手教科克服の一般的な視点ですね。  
 T: 次に、一人一人の悩みや不安について考えていきます。プリントを配ります。(「相談用紙」を配付)  
 T: (名前はまだ書かない) **やり方を説明します。1番に、自分の現在の学習状況と不安や悩みを書きます。それを別の誰かに見てもらってアドバイスをもらいます。ピア・サポートといいます。**  
 T: 裏の、□の中に、自分だけが分かるマークを付けてください。  
 T: 1番に自分のことを記入します。正直に書いてください。  
 T: (巡回しながら作業状況の確認や支援をする。)  
 T: 二つ折りにして、中が見えないようにして前の箱に入れます。  
 T: (箱は二つ用意。生徒を列毎に半分に分けて入れる箱を指定。)  
 T: 二つの箱を交換し、それぞれ中のプリントをシャッフルします。交換した箱からどれでもいいので持って行ってください。  
 T: **プリントを開いて、1番の勉強の取り組みの実態や悩みをよくみて、よいアドバイスや励ましを書いてあげてください。親身になって書くんですよ。**  
 T: (巡回しながら作業状況の確認や支援をする。)  
 T: 二つ折りにして前の箱に戻し、再交換します。自分の書いた印のあるものを間違えないように持って行ってください。  
 T: 2番の回答を良く読んでください。どうですか？  
 T: **今日の活動を振り返ります。今日の活動全体の感想、アドバイスを書いていた時と回答を読んだ感想を書いてください。**  
 T: (巡回しながら作業状況の確認や支援をする。)  
 T: **数人に発表してもらいます。(数名に指名する。)**  
 T: これをきっかけに、みんなで励まし合って良い方向へ高めていってください。とにかく、友達や先生に聞くことが大切です。  
 T: **プリントに名前を書いてください。集めますので。**  
 T: (挨拶) みなさんの頑張りを祈っています!

# 2 ワークシート (授業用) ※別冊資料p.108参照

進路学習ワークシート 学習の課題や悩みの解決 「学習資料」 3年・氏名

1 「学習に関する不安や悩み」事前アンケート結果 (マル1つ以下) ● 男子 ○ 女子

1 家庭での勉強に集中できない ●●●●●●●●●● (14/4)

2 勉強時間が確保できない ●●●●●●●●●● (17/4)

3 勉強方法が分からない ●●●●●●●●●● (13/4)

4 すぐに飽きてしまう ●●●●●●●●●● (13/4)

5 みんながどれ位勉強しているのか気になる ●●●●●●●●●● (13/4)

6 適当な問題集や参考書がない ●●●●●●●●●● (13/4)

7 授業中集中できない ●●●●●●●●●● (12/4)

8 やる気が起きない ●●●●●●●●●● (12/4)

9 苦手教科があって勉強できない ●●●●●●●●●● (12/4)

10 授業についていけない ●●●●●●●●●● (12/4)

11 分からない点を教わる相手がない ●●●●●●●●●● (12/4)

12 その他(具体的に) ●●●●●●●●●● (12/4)

2 「苦手意識を取りのぞこう」

先生 さてA君、みなさんとくじ数学が苦手だったね。  
 A君 そうですよ。でも、大抵ぐらいは覚えてますよ。  
 先生 A君が数学の成績を上げたのは、勉強の仕方が変わったからかもしれないよ。授業中にメモをたくさんとって、授業が終わってから復習してるよ。  
 A君 そのとおりです。ほんとに、わからないうちに授業中にメモをとってた。みんなと違って、授業中にメモをとってました。  
 先生 そうだね。でも、どこまでがわからないのか、わからないのよ。それよりわかるかなんて。あれ、なんだか頭が固くって、なかなか進んでくれないよ。  
 先生 私も数学にしている理科についても、そんなに同じ気持ちじゃないよ。  
 先生 さあ、さっさと勉強の計画をたてるには、それが先決だよ。なぜ、その教科が得意なのか、得意な科目ってあるのかな？  
 A君 数学じゃないよ。理科も数学も得意じゃないよ。  
 先生 じゃあ、他の科目が得意なのを思い出してみよう。それをもとに、自分の得意な科目の勉強の仕方からヒントをもらおうよ。  
 A君 そうか。でも、いつから数学が苦手になってしまったのかな。たしか1年夏のときは、そんな不安な感じはなかったよ。授業で勉強して、1・2年夏のときの勉強内容をもう一度見てみようかな。たぶん、どこからわからなくなったのか、わかると思います。

【作業】上の資料を読んで、苦手意識を取りのぞくための方法を話し合い、3つにまとめよう。

①

②

③

# 3 悩み「相談用紙」(授業用) ※別冊資料p.109参照

進路学習ワークシート 学習の課題や悩みの解決 「相談用紙」

【裏面】 \*裏面の口(四角)の中に、あなただけが分かる印や記号を記入してください。

1 「家庭での学習の取り組み状況」を振り返り、また、学習上の不安や悩みを書きましょう。

(1) 今までの家庭での学習について、自分の取り組み状況を振り返って見ましょう。

① 計画を立てて勉強している (丸印) 4 3 2 1 (1つ印)

② 計画とおりに勉強できている 4 3 2 1

③ 教科書などの理解をしている 4 3 2 1

④ 問題集などをノートにまとめている 4 3 2 1

⑤ 問題集などをしっかりと解いている 4 3 2 1

⑥ 単語や漢字練習などは書きながら覚えている 4 3 2 1

⑦ 分からない点や理解できない点は友達や先生などに関して解決している 4 3 2 1

(2) 現在抱えている学習上の不安や悩みを書きましょう。

\*表(この面)が見えないように、二つ折りにして、前の箱に入れてください。

2 「家庭での学習の取り組み状況」や学習上の不安や悩みに対するアドバイスや励まし(カウンセラー)1番に記されている学習の取り組み状況や不安や悩みに対して、アドバイスや励ましを考え、記入してください。

\*表(この面)が見えないように、二つ折りにして、前の箱に入れてください。

3 この活動の内容についての感想、クライアントやカウンセラーを経験した気持ち、2番のアドバイスや励ましを読んだ上で貴重な気持など、自分の思いをまとめてください。

氏名

【裏面】

# 4 板書事項

先生 友人 → にも聞く

・ 苦手になった理由を突き止める  
 ・ 分かるところと分からないところを明確にする  
 ・ 自分の将来と結び付ける

① やる気が出ない ・ あきる  
 ② 勉強の仕方が × ・ 苦手教科

① 集中力を高める  
 ・ ながら勉強  
 ・ 生活リズムを直す  
 ・ 生活リズムを直す

② 苦手意識を取り除く  
 ・ 不得意

# ▼授業後の生徒の感想 (抜粋)

- 【○:男子, ◎:女子】
- すごくいい活動だと思った。これからはアドバイスをもらったようにやってみようと思った。もっと勉強しようと思う。
  - 他の人の不安や悩みが自分に近いところもあった。もう少しアドバイスを書いてほしかった。受験に向けて気持ちを高めていく。
  - この活動で悩みが少しとれた気がする。アドバイスの内容はまあまあだった。これからは、勉強好きになって、受験勉強に取り組んでいきたいと思う。
  - 自分で問題点を言うっておきながら、自分でもやってなかったのがあった。アドバイスの内容は確かにそうだと思う。やってみようと思う。
  - ◎おもしろい活動だと思いました。アドバイスを聞いて、少し自信が出てきました。
  - ◎学習についてのみんなの考えが分かった。頑張ろうと思った。分からないことを、絶対分かるようにする。
  - ◎これを書いた人と同じだからちょっと安心した。勉強についてみんながどう思っているかが分かって良かった。苦手教科を克服できるように頑張る。
  - ◎みんなもたくさん悩んでいるのが分かったし、勉強時間を多くしようと思う。受験勉強を頑張ってテストの点数を上げようと思う。

(5) 指導実践結果の分析・考察

次の【表9】～【表16】は、指導実践後に、研究協力校の担任団の教師10名を対象に調査計画に基づいてアンケートを実施し、その結果をまとめたものである。

ア アンケート項目1番「研究の方向性について」の問いについて

研究の方向性に関しては、【表9】、【表10】のような結果であった。これらの結果から、①ガイダンスの機能を生かすところとして取り上げた四つの場面、②ガイダンスの機能を充実させるため工夫点として取り上げた五つの観点と指導計画への位置付け方、③適応と選択にかかわる六つの能力を指導計画に位置付けて3年間の系統性・発展性を考えたこと、④学習指導要領に示された学級活動の内容例とガイダンスの機能を生かす題材とのかかわりについて、いずれもほぼ妥当であると捉えられたことが分かる。

しかしながら、3年間の系統性・発展性については、それほど評価が高くはない。これは、3年間の指導の系統性が分かりづらいということの意味しているものと考えられる。また、ガイダンスの機能を生かすことのできる題材かどうかの判断については、活動内容例によって評価にややばらつきが見られる。個々の活動内容例の中でも何を（どんな題材を）中心に据えるかによって見解が分かれることは当然のことであるが、例えば「サ 性的な発達への適応」で「不適当」とする意見に対しては検討が必要と考える。

【表9】 研究の方向性について

1-(1)：ガイダンスの機能を生かす場面について	
ア 妥当	2
イ 概ね妥当	8
ウ やや不適当	0
エ 不適当	0
1-(2)-①：ガイダンスの機能を充実させるための工夫点として取り上げた観点について	
ア 妥当	3
イ 概ね妥当	7
ウ やや不適当	0
エ 不適当	0
1-(2)-②：ガイダンスの機能を充実させるための工夫点の指導計画への位置付け方について	
ア 妥当	3
イ 概ね妥当	7
ウ やや不適当	0
エ 不適当	0
1-(4)：3年間の系統性・発展性について	
ア 妥当	0
イ 概ね妥当	10
ウ やや不適当	0
エ 不適当	0

「注」 いずれも単位：人

【表10】 研究の方向性について

1-(3)：学習指導要領に示された学級活動の内容例とガイダンスの機能を生かす題材とのかかわりについて									
学級の活動内容	学級活動の活動内容例	ガイダンスの機能を生かせると判断				ガイダンスの機能を生かせないと判断			
		妥当	概ね妥当	やや不適当	不適当	妥当	概ね妥当	やや不適当	不適当
学級や学校の生活の充実と向上に関すること	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決	6	2	1					
	イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理					2	4	2	
	ウ 学校における多様な集団の生活の向上	8	2						
	エ 青年期の不安や悩みとその解決	6	2	1					
個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること	オ 自己及び他者の個性の理解と尊重					1	8		
	カ 社会の一員としての自覚と責任					3	5	1	
	キ 男女相互の理解と協力					2	3	1	
	ク 望ましい人間関係の確立	6	2	1					
	ケ ボランティア活動の意義の理解					2	5		
	コ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成					1	5	1	
	サ 性的な発達への適応					2	4		1
シ 学校給食と望ましい食生活の形成					3	4			
学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること	ス 学ぶことの意義の理解	6	3						
	セ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用	3	4	2					
	ソ 選択教科等の適切な選択	3	4	2					
	タ 進路適性の吟味と進路情報の活用	8	1						
	チ 望ましい職業観・労働観の形成					3	3	1	
ツ 主体的な進路の選択と将来設計	7	2							

「注1」 ゴジックの活動内容例が、ガイダンスの機能を生かせると判断した題材 「注2」 合計が10人に満たない項目は無回答あり (単位：人)

イ アンケート項目2番「生徒の学校生活への適応を促すことにかかわって」の問いについて

生徒の学校生活への適応を促すことに関しては、【表11】のような結果であった。これらの結果から、本研究で提示した学級活動の指導計画案は、教師サイドから見て、生徒の学校生活への適応を促す指導に大方役に立つと捉えられたことが分かる。

特にも、本指導計画案が、「個の思いを尊重し、自分の意

【表11】 生徒の学校生活への適応を促すことにかかわって

2-(1)：生徒の学校生活への適応を促す上で指導計画案が役立つかについて	
ア 役立つ	3
イ まあまあ役立つ	6
ウ あまり役立つたない	0
エ 役立つたない	0

「注」 無回答1 (単位：人)

思をもとう」とさせる工夫がなされていること、「活動のテーマが具体的で分かりやすい」こと、「不適応に対して、中学入学時から計画を立てて進めて」いくようにしていることが評価されている。

一方、本指導計画案の趣旨には理解を示しながらも、現実問題として、学級活動の時間をどのようにして確保するかという悩みを吐露した意見もあった。

ウ アンケート項目3番「生徒の主体的な選択を促すことにかかわって」の問いについて

生徒の主体的な選択を促すことに関しては、【表12】のような結果であった。これらの結果から、本研究で提示した学級活動の指導計画案は、教師サイドから見て、生徒の主体的な選択を促す指導に大方役に立つと捉えられたことが分かる。

特にも、本指導計画案が、「進路学習を行う上で多面的に働く」ように工夫されていること、「考えるポイントが設定されている」こと、「学級の連帯を深め、支え合うきっかけになる」ような活動が工夫されていることが評価されている。

一方、ここでも、学級活動の時間の確保の問題が挙げられている。また、「自分はどうかであるか」という主体性を「ガイダンスの機能とどう効果的にかかわらせて」育成するのかが不明確という意見もあった。この点については、3年間もしくは学年毎の指導の系統性が分かりづらいということの意味しているものと考えられる。

エ アンケート項目4番「学校生活への適応にかかわる生徒の様子について」の問いについて

学校生活への適応にかかわる生徒の様子に関しては、【表13】のような結果であった。これらの結果から、本研究で提示した学級活動の指導計画案に基づいた指導によって、教師の観察からは、生徒に学校生活への適応にかかわる効果が若干認められたことが分かる。

適応にかかわる具体的な生徒の様子として、「学級目標設定を小グループから全体」に広げて指導したことが「クラスに適した目標となり、意識化」につながったこと、「活動への取り組みに意欲が感じられる」よう

【表11-②】 生徒の学校生活への適応を促すことにかかわって

2-(2)：生徒の学校生活への適応を促す上で指導計画案が役立つと思われる点について
<input type="checkbox"/> 個から集団、そして個へ返すのが基本であるが、中1の段階では、「望ましい～」ことは指導すべきだが、もっと個の思いを尊重、または考えさせるべきと思われる。どうしても周りに流され、自分の意志を持つとうしない生徒が多いように感じるから…。 <input type="checkbox"/> 活動のテーマが具体的、分かりやすくあげられている。 <input type="checkbox"/> 学校への不適応も考えられる生徒に対しても、中学入学時から計画を立てて進めていけば指導できることもある。
2-(3)：生徒の学校生活への適応を促す上で指導計画案の改善・修正が必要と思われる点について
<input checked="" type="checkbox"/> どこでその学活や時間をとることができるか。学校全体で前年度から計画していくことが必要。年間計画を作る上で、どこにどの学活を入れるか考えながら。しかし、難しい面がある。

【表12】 生徒の主体的な選択を促すことにかかわって

3-(1)：生徒の主体的な選択を促す上で指導計画案が役立つかについて	
ア 役立つ	4
イ まあまあ役立つ	5
ウ あまり役立たない	0
エ 役立たない	0
「注」無回答1 (単位：人)	

3-(2)：生徒の主体的な選択を促す上で指導計画案が役立つと思われる点について
<input type="checkbox"/> 進路学習を行う上で、多面的に働くということについて考えられる。 <input type="checkbox"/> 各題材とも考える(思考能力)ポイントが設定されている。 <input type="checkbox"/> 進路学習を進めていく上でかなり重要である。 <input type="checkbox"/> ともすれば孤独になりがちな「進路」において、ガイダンス機能が学級の連帯を深め、支え合うきっかけになると感じました。 <input type="checkbox"/> (これまで)クライアント、カウンセラーという関係になって生徒がアドバイスしたり、励まされたりする場面がなかったので、(3年-22の指導実践は)とても新鮮で、生徒もアドバイスされたことがうれしかったようである。
3-(3)：生徒の主体的な選択を促す上で指導計画案の改善・修正が必要と思われる点について
<input checked="" type="checkbox"/> どこでその学活や時間をとることができるか。学校全体で前年度から計画していくことが必要。年間計画を作る上で、どこにどの学活を入れるか考えながら。しかし、難しい面がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 最終的には「主体的な」ことを目指すので、「自分はどうかであるか」ということが大切になってくると思われます。「ガイダンス機能」を、そのこととどう効果的にかかわらせていくのか…学びたいと感じました。

【表13】 学校生活への適応にかかわる生徒の様子について

4-(1)：この指導計画案に基づいた指導によって、生徒に、学校生活への適応にかかわる効果が表れたか	
ア そう思う	1
イ どちらかといえばそう思う	5
ウ どちらかといえばそう思わない	1
エ そう思わない	0
「注」無回答3 (単位：人)	

4-(2)：生徒のどのような様子からそのように思われたのか
<input checked="" type="checkbox"/> (新年度初めのオリエンテーション期間中)、学級目標決定にあたっての際、少人数グループから案を出すために話し合いが十分なされ、全体での話し合いになったときも、理由が明確化され、自分たちのアイデアの中からさらにクラスに適した目標をキャッチコピー的な形でまとめることができた。その後も、折りに触れて目標を意識させやすかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 各活動に取り組み姿勢が意欲的に感じられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 話し合いの場面で自分の気持ちを伝えようという気持ちが現れ始めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 直後においては意識をもって生活していると思われるが、中1は、友人関係や様々な問題から気持ちが揺れ動く時期であり、繰り返しの援助が必要であるから。 「注」各文頭のイ、ウの囲み文字は、前表4-(1)に同じ。

になったこと、「話し合いで自分の気持ちを伝えよう」という姿勢が見られるようになってきたことが挙げられている。

一方、指導直後は適応にかかわる効果を感じられるものの、「繰り返しの援助が必要である」との意見も見られた。これも、提示した指導計画の3年間もしくは学年毎の指導の系統性が分かりづらいということの意味しているものと考え。

オ アンケート項目5番「主体的な選択にかかわる生徒の様子について」の問いについて

主体的な選択にかかわる生徒の様子に関しては、【表14】のような結果であった。これらの結果から、本研究で提示した学級活動の指導計画案に基づいた指導によって、教師の観察からは、生徒に主体的な選択にかかわる効果が若干認められたことが分かる。

主体的な選択にかかわる具体的な生徒の様子として、「他からの意見やアドバイスによって、新しい考えや視野の拡大」につながっていること、「方向性を示唆することで、よりよい方向に向かっている」こと、「進路の情報収集への意識のある生徒が多くなったと感じる」こと、「進路や学習に前向きに頑張ろうという気持ちが感じられるようになった」ことが挙げられている。

一方、「選択教科の決定に当たって他学年の意見を聞くことは難しい」という意見があった。これに対しては、8頁の「エ 選択教科の開設状況はどうなっているか」で述べたような対策を講じることを考える。

カ アンケート項目6番「その他」の問いと指導計画案に朱書して頂いた事項について

その他に関しては、【表15】のとおりであった。また、提示した指導計画案に、気付いた点を朱書して頂いた事項をまとめて、【表16】に示した。

これらの中では、1年生の**2**及び**4**の指導計画に対する改善や修正が必要であると考え。

以上のことから、本研究で提示した、ガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画案は妥当であり、生徒の学校生活への適応と主体的な選択を促す上でも効果が認められたといえる。

【表14】 主体的な選択にかかわる生徒の様子について

5-1) : この指導計画案に基づいた指導によって、生徒に、主体的な選択にかかわる効果が表れたか

ア そう思う	1
イ どちらかといえばそう思う	5
ウ どちらかといえばそう思わない	1
エ そう思わない	0

「注」無回答3 (単位:人)

5-2) : 生徒のどのような様子からそのように思われたのか

- 他クラスの発表や意見を聞いたり、先生や先輩のアドバイスを聞くことで、新しい考えをもったり、視野が広がったと思う。
- 中1は自己が確立された意志をもてる生徒は少ないと思われる。つまり、周りに流されがちであり、このような形態で、一つの方向性を示唆することで、よりよい方向に向かっていると思われる。
- 進路に関しても積極的に情報を集めようという意識のある生徒が多くなったように感じる。
- 学級の仲間からのアドバイスによって、進路に関する悩みを共有し、前向きに頑張ろうとする気持ちが感じられるようになった。
- 3Bでの(研究者本人が行った「学習の課題や悩みの解決」の)授業後、生徒達には気軽に学習を教え合ったり励まし合ったりする場面が見られ、大変有意義だったんだなあと思いました。また、よし頑張るぞという学習に対する意欲を向上させる動機付けにもなったと思いました。
- 選択教科決定にあたって、他学年(3年)の意見(アドバイス)を聞く機会を設けるとすることは難しいのではないかと。生徒の実態によって授業内容も異なってくるので、なかなか難しいように思った。

「注」各文頭のア、イの囲み文字と、無の白抜き文字は、前表5-1)に同じ。

【表15】 その他

6 : その他、どのようなことでもお気づきの点

- ◎ アンケートをとり、まとめることで、生徒たちが冷静に自分たちにことを見つめることができると思う。また、発表する力、他の意見から学ぶ力が伸びると思う。

【表16】 指導計画案に朱書していただいた事項

- 1年-**1** 「中学生になって」の「自己紹介ゲーム2」では、仲間から聞いたことを思い出して答えようとしていて良かった。
- 1年-**1** 「中学生になって」の終末の感想では、「今までは気付かなかった級友の一面が見られて良かった。」という感想があり、良かった。
- 1年-**2** 「中学生とは何か」の展開は、説明を聞くだけの流れで、もう少し工夫が必要である。
- 1年-**4** 「学級目標を決めよう」の留意点の「具体的に評価が可能なもの」という観点を強調しすぎると、生徒は、あまりにも具体的すぎる目標を考えてしまうところがあると思う。
- 全学年の「選択教科の選択」で、「先輩の体験談を生かす」という工夫点は、昨年度と設置コースが異なるのでできなかった。

#### 4 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方に関する研究のまとめ

本年度は、昨年度の成果を踏まえながら、①ガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画を作成すること（単位時間の指導計画の作成を中心に、3年間の指導計画と各学年の指導計画を修正すること）、②作成した指導計画案に基づいて指導実践を行い、その結果の分析と考察をとおして学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方の妥当性を検討すること、③昨年度課題としていたガイダンスの機能を生かした指導計画の作成や指導実践の推進にかかわる留意事項への対応策を考えること、の三つを進めてきた。

ここでは、ガイダンスの機能を生かした指導計画に基づいた指導実践と、その分析・考察によって明らかになった成果と課題についてまとめる。

##### (1) 成果

ア 指導実践をとおすことによって、指導計画に沿った指導がほぼ無理なく展開できることが確かめられたことと、活用上の留意点や改善の視点が明らかになったこと

イ 第3学年で指導実践した一つの事例を基に、単位時間の指導計画案の活用例を示すことができたこと

ウ ガイダンスの機能を生かした指導計画の作成の視点として考えた、①ガイダンスの機能を生かす場面、②機能を充実させるための工夫点とその指導計画案への位置付け方、③学級活動の題材とのかかわり、④3年間の系統性・発展性について、いずれもほぼ妥当であると受け止められたこと

エ ガイダンスの機能を生かした指導計画案は、教師サイドから見て、生徒の学校生活への適応や主体的な選択を促す指導に大方役に立つと捉えられたこと

オ ガイダンスの機能を生かした指導計画案に基づいた指導によって、教師の観察からは、生徒に学校生活への適応や主体的な選択にかかわる効果が認められたこと

##### (2) 課題

ア ガイダンスの機能を生かす学級活動の題材を吟味すること

イ 改善・修正の必要性を指摘された指導計画案の展開を工夫すること

以上のことから、本研究で作成した、ガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画案は、学校生活への適応と主体的な選択を促す上で効果があり、中学校学級活動の指導の改善に役立つという見通しをもつことができた。

## VI 研究のまとめ

この研究は、ガイダンスの機能を生かした指導計画の作成をとおして、学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方を明らかにし、中学校における学級活動の指導の改善に役立てようとするものである。

2年次研究の第1年次である昨年度は、先行研究や文献から得た資料や情報を基に、学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方についての基本的な考え方の検討、基本構想の立案並びに推進試案の作成を行った。また、それらの結果を踏まえて、ガイダンスの機能を生かした指導計画案（3年間の指導計画案、各学年の指導計画案）の作成を行った。

第2年次である今年度は、ガイダンスの機能を生かした指導計画案を作成（単位時間の指導計画案を中心に作成し、それとの整合性を加味して3年間の指導計画案と各学年の指導計画案を修正）した。そしてそれに基づいた指導実践を行い、その結果の分析と考察をとおして、学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方に関する妥当性の検討を行った。

2年間の研究の成果と課題については、次のようにまとめることができる。

### 1 研究の成果

#### (1) 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方に関する基本的な考え方の検討

先行研究や文献を基に、学校生活への適応と主体的な選択にかかわる六つの能力を明らかにすることをとおして、ガイダンスの機能を生かした指導計画を作成することが学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動を進める上で重要であるという考えを示すことができたこと

- (2) 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方に関する基本構想の立案  
学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動を進めるためには、ガイダンスの機能を生かした指導計画が、一つ一つの学級活動の系統性・発展性に留意し、学校として計画的、組織的に行うように組まれている必要があるという考えに基づいて、基本構想を立案することができたこと
- (3) 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方に関する推進試案の作成  
基本構想を受けて、基本としておさえるべきことを踏まえながら、現在使用している学級活動の指導計画の見直しと修正を行い、指導実践をとおしてさらに修正を加えることで、学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動を進めることができるという考えに基づいて、推進試案を作成することができたこと
- (4) ガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画の作成  
指導計画の作成においては、推進試案に基づいて、①「ガイダンスの機能を生かした3年間の学級活動の指導計画案」、②「ガイダンスの機能を生かした各学年の学級活動の指導計画案」及び③「ガイダンスの機能を生かした単位時間の学級活動の指導計画案」を作成することができた。また、これらの作成にかかわる考え方や手順、関連資料等をまとめ、別冊資料として「ガイダンスの機能を生かした学級活動指導計画案集」を作成することができたこと
- (5) ガイダンスの機能を生かした指導計画の作成や指導実践の推進にかかわる留意事項  
第1年次の研究の課題であった「指導計画の作成や指導実践の推進を学校全体で計画的、組織的に進める際の、校内の組織体制の在り方」と「指導計画案を各学校で運用する上での留意点」について、①各学校の条件を踏まえた指導計画案の作成、②校内の組織体制と指導計画作成までの年間の推進日程、③指導実践の計画的、組織的な推進にかかわる組織体制と連絡調整の三点から整理して示すことができたこと
- (6) ガイダンスの機能を生かした指導計画に基づく指導実践とその分析・考察  
研究協力校における指導実践をとおして教師のアンケートからは、①指導計画作成の四つの視点（ガイダンスの機能を生かす場面、機能を充実させるための工夫点と指導計画案への位置付け方、学級活動の題材とのかかわり、3年間の系統性・発展性への配慮）が妥当であること、②提示した指導計画案は、学校生活への適応と主体的な選択を促す上で役に立つこと、③生徒に、学校生活への適応と主体的な選択にかかわる効果が見られたことが分かったこと
- (7) 学校生活への適応と主体的な選択を促す中学校学級活動の進め方に関する研究のまとめ  
指導実践の分析と考察により成果と課題をまとめ、推進試案に基づいて作成したガイダンスの機能を生かした指導計画は、生徒の学校生活への適応と主体的な選択を促す上で効果があり、中学校学級活動の指導の改善に役立つという見通しをもつことができたこと

## 2 今後の課題

- (1) 今回作成した単位時間の指導資料以外の、各単位時間で活用する指導資料の整備・充実を図ること
- (2) 今回提示した指導計画案に基づく指導実践をさらに進め、指導計画案の修正・改善を行うこと
- (3) 職場訪問学習や職場体験学習、高校体験入学や高校説明会などのように、長期にわたって他領域とも連携して指導がなされる啓発的体験活動等における題材と指導の一連の流れを示すこと

## おわりに

この研究を進めるにあたり、ご協力いただきました研究協力校の先生方に心からお礼を申し上げます。

## 【引用文献】

文部省(1999),『中学校学習指導要領(平成10年12月)解説-総則編-』,東京書籍, p. 90

文部省(1999),『中学校学習指導要領(平成10年12月)解説-特別活動編-』,ぎょうせい, p. 82

## 【参考文献】

坂本昇一(1999),『生徒指導が機能する教科・体験・総合的学習』,文教書院

仙崎 武・進路力を育てるネットワーク(2001),『中学生の進路力を育てる総合的な生き方の学習プラン』,実業之日本社

仙崎 武・渡辺三枝子(2002),『ガイダンス・カウンセリングで学校を変える 小・中学校におけるガイダンス・カウンセリングの展開』,教育開発研究所

高橋哲夫・森嶋昭伸・今泉紀嘉(2004),『「ガイダンスの機能の充実」によるこれからの生徒指導、特別活動』,教育出版

谷合明雄(1996),『新しい進路指導の提案 中学1・2年』,明治図書

日本進路指導協会(2002),『中学生生活と進路 指導書』(1年~3年),実業之日本社

宮川八岐(2000),『全訂特別活動読本』,教育開発研究所

森嶋昭伸・鹿嶋研之助(2000),『新中学校教育課程講座 特別活動』,ぎょうせい

森嶋昭伸・鹿嶋研之助(2000),『改訂中学校学習指導要領の展開 特別活動編』,明治図書

## 参考Webページ

岡山県教育センター 調査研究 長期研修員研究 平成14年度 集団生活への適応を重視した学級活動年間指導計画の作成-中学校第1学年を対象として-

<http://www.edu-c.pref.okayama.jp/choken/H14/h14-seika/pdf/itami.PDF>

鹿児島県総合教育センター カリキュラムセンター 特別活動 ガイダンスの機能の充実

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/kari/keiei/tokubetu/gaidansu.pdf>

鹿児島県総合教育センター 調査研究 指導資料 平成13年度 ガイダンスの機能の充実-学級活動等の実践例を通して-

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/er/edu-info/shido/h13/h1309/s01354.pdf>

新潟県教育庁義務教育課 平成12年度新教育課程説明会資料 適応・選択能力を高めるガイダンス機能の充実

<http://www.pref.niigata.jp/gimukyo/sinkatei/h12/pdf/tokut1.pdf>

新潟県教育庁義務教育課 平成13年度新教育課程説明会資料 ガイダンス機能を充実させた学級活動の工夫

[http://www.pref.niigata.jp/gimukyo/sinkatei/h13/pdf2/j\\_tokubetukatudou3.PDF](http://www.pref.niigata.jp/gimukyo/sinkatei/h13/pdf2/j_tokubetukatudou3.PDF)

広島県立教育センター 教育相談・生徒指導情報 生徒指導の理論

<http://pfrq3.hiroshima-c.ed.jp/soudan/h14/sidou/00202.pdf>



【補充資料】

指導実践後の「教師用アンケート」

※ 回答欄は紙面の都合で縮小した

ガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画案を活用した指導実践を行っての率直なご感想・ご意見をお教えてください。

[ 年学級担任]	[ 年副担任]	その他 [ <small>分学年名</small> ]	お名前	
----------	---------	-----------------------------	-----	--

指導計画案について

1 研究の方向性にかかわって

(1) ガイダンスの機能を生かす場面について、①入学時や新学期開始時期の指導、②新たな学習や各種の学習活動の開始時期の指導、③選択教科等の指導、④進路の選択の指導の四つを取り上げて、指導計画案に位置付けましたが、これについていかがだったでしょうか。

ア 妥当      イ 概ね妥当      ウ やや不適當      エ 不適當

(2) ガイダンスの機能を充実させるための工夫点として、①ねらいの明確化、②適時、適切な場での活動（3年間の中での位置付け）、③よりよい内容（適切な内容）、④効果的な方法（指導方法や活動形態、他の教育活動との連携）、⑤学校のもつ教育力の発揮（全教員、上級生、卒業生、地域の人々の活用）の五つを取り上げて、指導計画案に位置付けましたが、これについていかがだったでしょうか。

① 取り上げた観点について

ア 妥当      イ 概ね妥当      ウ やや不適當      エ 不適當

② 指導計画案への位置付け方について

ア 妥当      イ 概ね妥当      ウ やや不適當      エ 不適當

(3) 学習指導要領に示された学級活動の活動内容例とガイダンスの機能を生かす題材とのかかわりを、【下表】のようにとらえて指導計画案に位置付けましたが、これらのとらえ方についていかがだったでしょうか。下表のア～ツの個々の活動内容例毎に、適否に○印をお願いします。

(注) **ゴシツク**の活動内容例が、ガイダンスの機能を生かせると判断した題材

学話の活動内容	学級活動の活動内容例	ガイダンスの機能を生かせると判断				ガイダンスの機能を生かせないと判断			
		妥当	概ね妥当	やや不適當	不適當	妥当	概ね妥当	やや不適當	不適當
学級や学校の生活の充実と向上に関すること	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決								
	イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理								
	ウ 学校における多様な集団の生活の向上								
個人及び社会の一員としての在り方、健康や安全に関すること	エ 青年期の不安や悩みとその解決								
	オ 自己及び他者の個性の理解と尊重								
	カ 社会の一員としての自覚と責任								
	キ 男女相互の理解と協力								
	ク 望ましい人間関係の確立								
	ケ ボランティア活動の意義の理解								
	コ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成								
	サ 性的な発達への適応								
	シ 学校給食と望ましい食生活の形成								
学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること	ス 学ぶことの意義の理解								
	セ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用								
	ソ 選択教科等の適切な選択								
	タ 進路適性の吟味と進路情報の活用								
	チ 望ましい職業観・労働観の形成								
ツ 主体的な進路の選択と将来設計									

(4) 3年間の系統性・発展性について、適応と選択にかかわる六つの能力とのかかわりでとらえて指導計画案に位置付けましたが、これについていかがだったでしょうか。

ア 妥当      イ 概ね妥当      ウ やや不適當      エ 不適當

2 生徒の学校生活への適応を促すことにかかわって

(1) 生徒の学校生活への適応を促す上で、この指導計画案は、役立つでしょうか、どうでしょうか。役立つ      まあまあ役立つ      あまり役立たない      役立たない

--	--	--

(2) 生徒の学校生活への適応を促す上で、この指導計画案が役立つと思われる点についてご記入ください。

--

(3) 生徒の学校生活への適応を促す上で、この指導計画案の改善・修正が必要と思われる点についてご記入ください。

--

### 3 生徒の主体的な選択を促すことにかかわって

(1) 生徒の主体的な選択を促す上で、この指導計画案は、役立つでしょうか、どうでしょうか。  
役立つ                      まあまあ役立つ                      あまり役立たない                      役立たない

--	--	--	--

(2) 生徒の主体的な選択を促す上で、この指導計画案が役立つと思われる点についてご記入ください。

--

(3) 生徒の主体的な選択を促す上で、この指導計画案の改善・修正が必要と思われる点についてご記入ください。

--

### 生徒の様子について

#### 4 学校生活への適応にかかわる生徒の様子について

(1) この指導計画案に基づいた指導によって、生徒に、学校生活への適応にかかわる効果が表れたと思いますか。

- ア そう思う
- イ どちらかといえばそう思う
- ウ どちらかといえばそう思わない
- エ そう思わない

(2) 生徒のどのような様子からそのように思われたのかを、例にならって具体的にご記入ください。

例：年度初めのオリエンテーション期間の指導後の「中学生活への決意文」によると、生徒の多くは「学校生活や友人関係の不安が和らぎ、友人関係も良好に築くことができた」「中学校の生活サイクルや学習、諸活動の特徴がよく分かったので、積極的に活動し思い出をたくさん作りたい」等と記していた。その後の実際の場面でも、学級目標を意識してみんなで協力し合って諸活動に意欲的に取り組み、落ち着いた生活ぶりであった。
---

#### 5 主体的な選択にかかわる生徒の様子について

(1) この指導計画案に基づいた指導によって、生徒に、主体的な選択にかかわる効果が表れたと思いますか。

- ア そう思う
- イ どちらかといえばそう思う
- ウ どちらかといえばそう思わない
- エ そう思わない

(2) 生徒のどのような様子からそのように思われたのかを、例にならって具体的にご記入ください。

例：授業後の感想等によると、多くの生徒が、学習する意義について将来の希望職業等自分の生き方と結びつけて考えるようになってきた。また、進路に関する悩み等に対し、教師はもとより、友人・先輩・家族・身近な人々等から多角的に情報を集め、「これで解決してみよう」「これだったら自分にもできる」「この方法で自分を伸ばそう」といった様に、自らの意志と責任でより適切な選択をする生徒がみられるようになってきた。
---

### その他

6 その他、どのようなことでも結構ですので、お気づきの点があればご記入をお願いします。

--

ご多用のところ、ご協力ありがとうございました。